



つの がい 角替石材店 新聞

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。さて、先月の新聞で「タ治見を訪れたお話をしましたが、実は旅の一番の目的は、仕事のリサーチをする中で、写真で偶然見かけた石仏をどうしてもこの目で見たい!!!というものでした。その石仏は、岐阜県瑞浪市日吉町本郷の田んぼの脇に建てられている十三石碑です。まわりも田んぼも郷愁を感じます。よい風景です。



当日は、小雨の中でしたが、石に彫られた仏さんの優しい表情、佇まいがなんとも愛らしく、こちらも自然と優しい気持ちになりました。本郷十三石(ほんごうじゅうさんせき)は、天保十三年(1842年)の建立で、お釈迦様、菩薩様、お地蔵さんなど十三の仏像が彫られています。石は御影石でしょうか。この時代まで残ってくれているおかげで、こうして出会うことができました。またいつか、今度は晴れた日の十三石仏さんにも会えたらいいなと思います。

知つて いますか? 1月の記念日

●1月18日は「118番の日」です

海上での緊急通報用電話「118番」を広く知つてもらうことを目的に、海上保安庁が2010年に制定しました。「110番」や「119番」に比べて「118番」の低い知名度を高めるため、「海のもしもは118番」というキャッチコピーで、海難事故に遭遇

した際や不審船の発見時などには通報することを呼びかけています。



※仏事クイズの答え: ②

※まちがいさがしの答え: 1)破魔矢 2)馬のたてがみ 3)おちょこ

■発行者:株式会社 角替石材店

専務:角替立弘 (つのがい たつひろ)

昭和46年富士市生まれ。

岳陽中、富士宮北高、建築の学校を経て、東京の設計事務所で2年間働きました。父親、妻、息子2人の3世代5人家族です。読書とモノ作りが好きで、石はもちろん金属や紙を使って作品を作るのが趣味です!

※国家検定1級技能士(社長)

※二級建築士



角替石材店 展示場

0120-21-6649

静岡県富士市厚原2108-3

～お墓・仏事のミニ知識～

★どんな神様？仙様？「天神さま」

毎年たくさんの受験生が合格祈願に訪れる天神社。

天神社や天満宮では、平安時代の貴族 菅原道真公を祀っています。道真公が藤原時平の嘘の告げ口によって左遷され太宰府で亡くなったあと、京都では疫病や災害が続きました。さらなる宮中への落雷で、貴族たちはこれを道真公の怨霊の仕業だと恐れ、鎮めるため天神(雷神)として祀ります。一方で、農民にとって雷神は水田を潤す雨をもたらしてくれるため、「めぐみの神」として信仰され全国に広まっていきました。その後、道真公の学問や文学への功績が評価されるようになって学問の神様としても信仰されるようになります。身近な神様として今日でも親しまれています。



仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

「クフ王のピラミッド」「大仙古墳」と並ぶ、世界三大墳墓のひとつは次のうちどれでしょう？

- ① 楊貴妃墓
- ② 始皇帝陵
- ③ タージ・マハル

ヒント

1974年に発見され、87年には中国初の世界遺産に登録されました。「兵馬俑(へいばよう)」で有名です。

まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。